

ア－ 1

そ の 他 ア

新たな時代に対応した都市づくりのあり方について(中間報告)

1. これまでの経緯

		年月日	内 容
平成29年度 第3回 都市計画審議会		平成30年1月31日	・現行プランの中間評価（報告） ・新たな時代に対応した都市づくり のあり方（諮問）
新たな都市 づくり検討 部会	第1回	平成30年5月25日	・これまでの取組、取り巻く状況 ・めざすべき方向性 ・都心部のまちづくりの方向性
	第2回	平成30年7月30日	・都市づくりの目標、方針 ・将来都市構造の考え方 ・都心部における拠点のまちづくり
	第3回	平成30年9月19日	・将来都市構造 ・都心部における軸、界限、拠点連携 のまちづくり

※第4回部会についても、平成30年11月14日に開催

2. 新たな都市づくり検討部会 委員名簿

(平成30年11月16日現在)

氏 名	役 職 等	備 考
えぐち しのぶ 江 口 忍	名古屋学院大学現代社会学部 教授	
たか とり ちか佳 高 取 千 佳	名古屋大学大学院環境学研究科 助教	
とく やま みつえ恵 徳 山 美津恵	関西大学総合情報学部 教授	
ひで しま えいぞう三 秀 島 栄 三	名古屋工業大学大学院工学研究科 教授	・都市計画審議会委員
ふく しま しげる茂 福 島 茂	名城大学副学長・都市情報学部 教授	・都市計画審議会会長 ・部会長
まつ もと ゆきまさ正 松 本 幸 正	名城大学理工学部 教授	
むら やま あきと人 村 山 顕 人	東京大学大学院工学系研究科 准教授	
よし むら てるひこ彦 吉 村 輝 彦	日本福祉大学国際福祉開発学部 教授	

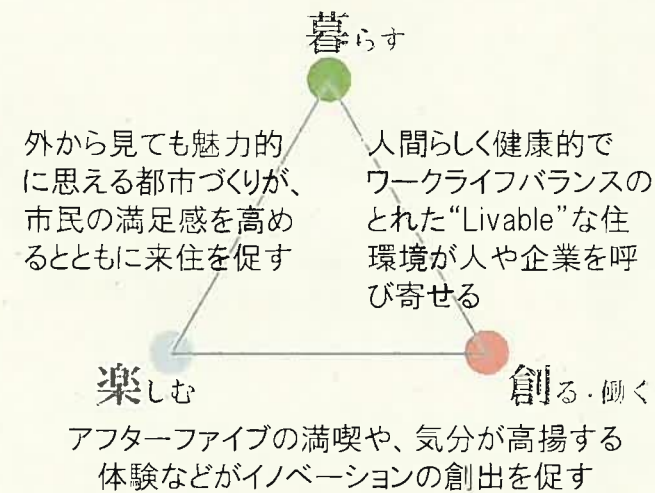
(敬称略・五十音順)

3. 今後の予定

年 度	事 項		内 容
平成30年度	市民 ワークショップ		・名古屋のまちのこれからについての ディスカッション
	平成30年度 第3回 都市計画審議会		・中間とりまとめ(都市づくりのあり方) ※将来都市構造にかかる部分については、 次期総合計画に登載予定 ・とりまとめ(都心部のまちづくり)
	部会	第5回	・分野別の施策
	都心まちづくり ビジョン公表		
平成31年度	部会	第6回	・答申素案
	平成31年度 第1回 都市計画審議会		・答申素案(中間報告)
	部会	第7回	・答申案
	平成31年度 第2回 都市計画審議会		・答申
	市民意見募集 (パブリック コメント)		・都市計画マスタープラン案
平成32年度 (上旬)	都市計画マスター プラン公表		

3 課題と対応

3つのライフスタイルの要素と相乗効果



時代の潮流（再掲）

- 人口構造・動態の変化
- リニア中央新幹線開業、SMR形成
- 産業構造の転換、自動車産業の変革
- 価値観や働き方等の多様化
- 観光需要の高まり
- 激甚化する自然災害
- 都市の持続性に対する意識の高まり（SDGs等）

暮らす （課題）	楽しむ（余暇・観光） （課題）	創る・働く（経済・産業） （課題）
●人口構造・動態の変化 （課題）人口減少により都市の活力の低下が懸念される 高齢者が増加し、交通弱者が増える 増加する外国人居住者の生活環境の整備が十分でない可能性 （対応）居住と都市機能のメリハリによる活力の維持向上が必要 歩いて暮らせる環境づくりが必要 外国人も快適に暮らせる環境づくりが必要	●人口構造・動態の変化 （課題）主に関東への人口流出が顕著であり、都市の活力の低下が懸念される （対応）余暇等の観点からも、都市の魅力を高め、国内外から広く訪れたい都市となることで、市民が誇りを感じ、住み続けたい都市になることが必要	●人口構造・動態の変化 （課題）人口減少、特に生産年齢人口の減少は生産性の低下を招き、本市の経済力の低下が懸念される 人口の関東への流出は、就労目的の若い女性に特に顕著であり、多くの人材が流出 （対応）一人当たりの生産性を高めるとともに付加価値の高い産業創出が必要 女性にとって魅力的な産業や職場の創出が必要
●リニア中央新幹線開業、SMR形成 東京や大阪との時間距離が格段に短縮され、ライフスタイルにも大きな影響を与える中、東京等への人口流出が懸念される 住みよい都市として、これまで以上の魅力的な生活環境づくりが必要	●リニア中央新幹線開業、SMR形成 長距離の移動が容易になり、交流がしやすくなる 三大都市圏が近くなり、中部圏の存在感の低下が懸念される ホスピタリティの向上、デスティネーションの充実が必要 中部圏の玄関口として圏域内の連携を強化することが必要	●リニア中央新幹線開業、SMR形成 交流人口の拡大により、ビジネスチャンスが生まれやすくなる 三大都市圏が近くなり、中部圏の存在感の低下が懸念される ビジネスチャンスを作り、就労するための環境を整備することが必要 中部圏の中核都市として、新たな価値の創造が必要
●価値観や働き方等の多様化 シェアリングの普及など価値観やライフスタイルの多様化や、女性の社会進出やテレワークの普及等に見る働き方の多様化 多様な人たちが自由に快適に生活できる寛容性のある生活環境づくりが必要	●観光需要の高まり インバウンド需要の増加が今後も見込まれ、都市間競争が激化し、本市の相対的な地位の低下が懸念される 本市の魅力を世界に発信する好機と捉え、需要を取り入れ、本市の活力につなげていくことが必要	●産業構造の転換、自動車産業の変革 技術革新の進展により自動車産業にも大きな構造変化が予想され、今後の圏域経済の成長の岐路に立たされている 単一の産業への依存からの脱却のため、都市の魅力により多様で新たな価値を生む人材の呼び込みが必要
●激甚化する自然災害 ●都市の持続性に対する意識の高まり（SDGs等）	… 普遍的なテーマとして、広く横断的に対応	… 普遍的なテーマとして、広く横断的に対応

4 都市づくりの目標

名古屋の特徴（再掲）

- 空間的・時間的・経済的なゆとり
- 充実した都市基盤・施設
- 豊富な歴史資源、緑・水空間
- 広域圏に見る豊富な観光資源
- ものづくり産業の集積
- 陸海空のインフラの充実

ゆとりと便利が織りなす 多様で快適な生活空間	歴史と未来の融合で磨く オンリーワンの体験空間	技術力と経済力で輝く グローバルな創造空間
広い住宅敷地や、通勤時間の短さ、高く安定した所得水準等といった空間的・時間的・経済的ゆとりと、充実した都市基盤・施設という強みを生かしながら、健康的で人間らしく、名古屋ならではのライフスタイル空間を形成	本市は豊富な歴史・文化資源や、魅力的な緑・水空間を有しており、中部圏に数多ある観光名所との連携の上で、名古屋の歴史と都市的魅力が融合した唯一の空間を形成	国土の中心という地理性、陸海空の充実したインフラにより人流・物流を促し、多様な人材の集積や圏域のものづくり技術による新たな価値創造による、経済力の維持・向上のための空間を形成

都市づくりの目標

ゆとりと便利が織りなす多様で快適な生活空間

歴史と未来の融合で磨くオンリーワンの体験空間

技術力と経済力で輝くグローバルな創造空間

5 将来都市構造の考え方

都市構造を考える上での基本的視点

都市の賑わいや活力を生むための、
人・もの・情報の交流による
創造的活動を生み出す都市構造

様々な人が自由に活動できるため
の、自動車に頼らない、
歩いて暮らせる都市構造

激甚化する自然災害に
対応するための、
災害リスクを考慮した都市構造

世界規模の環境問題の意識の
高まりに呼応する、
環境負荷の小さい都市構造

厳しい財政状況を見据えた、
効率的な都市経営が
可能な都市構造

大都市における
「集約連携型都市構造」

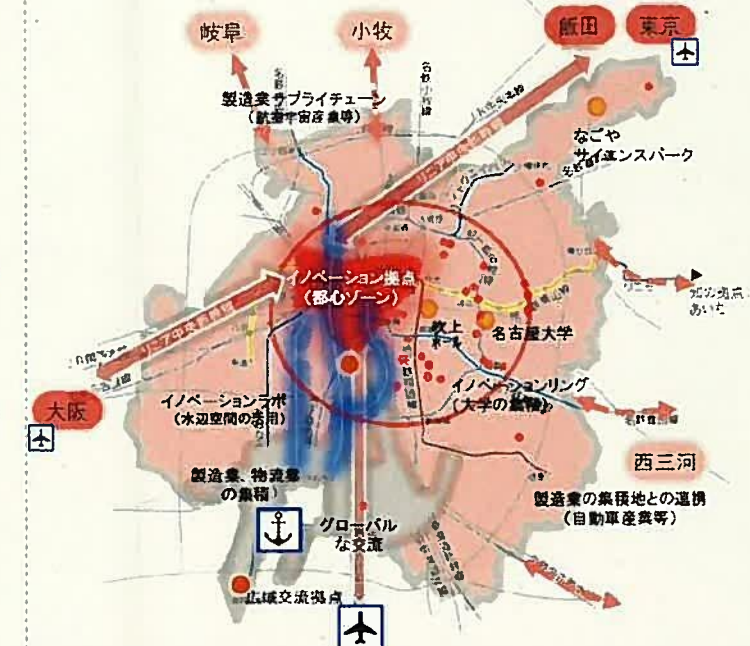
多様な都市機能が適切に配置・連携



- 人口減少・高齢化を受け、公共交通を軸に居住と都市機能を集約。地域特性を生かし、価値観やライフスタイル等の多様性に対応した都市構造
- 大都市ならではの利便性と郊外的なゆとりを維持・向上させ、名古屋ライフスタイルを提供する空間を形成



- 都心を交流賑わいの拠点とし、名古屋港へのウォーターフロント軸や、名古屋城、熱田神宮等を核に歴史軸を形成
- インバウンド増加やリニア開業、SMR形成を踏まえた、市内の魅力資源間の連携や広域的な観光連携を構築する都市構造



- 都心を中心に、大学の集積や地域特性を生かしてイノベーションを促進する都市構造
- 国土の中心という地理性や陸海空の充実したインフラを生かし、ものづくり産業の操業環境やサプライチェーンの維持・向上、グローバルな交流を促進

6 分野別の都市づくりの方針

土地利用

都市機能の土台となる土地建物の適切な利用

多様な施設・住環境の充実、
良質な住宅の供給等

防災

激甚化する災害から都市活動を守る空間の形成

建物・インフラの防災性向上、
災害リスクに対応するインフラ等整備

低炭素・エネルギー

持続的で社会的価値の高い空間の形成

エネルギー効率の高い都市づくり
（住宅・モビリティ）

緑・水

健康的な都市活動を促進し風格のある空間の形成

緑・オープンスペース維持活用、
自然環境保全・生物多様性配慮

交通

誰もが自由で快適な移動を行える空間の形成

公共交通利用促進、道路空間再編、
道路交通円滑化等

景観

市民の誇りとなり感性を刺激する空間の形成

住民の誇り・愛着につながる都市景観形成

多様なコンテンツ、活動の場の提供、
高度三次元的土地利用等

来訪者の安心・安全を担保する環境整備

エネルギー効率の高い都市づくり
（モビリティ）

遊び楽しむ公園整備、
魅力的なウォーターフロントづくり等

多様な交通モードによる回遊性向上、
空港・港湾の活用

心に残る都市景観形成、
歴史まちづくり資産の活用

クリエイティブな交流・創造空間、
グローバルなビジネス環境形成等

業務継続機能の向上（BCP）

エネルギー効率の高い都市づくり
（商業・業務ビル、モビリティ）

クリエイティブなビジネス活動を促進する
オアシス空間の整備等

最先端モビリティ実装、
効率的な物流ネットワーク形成等

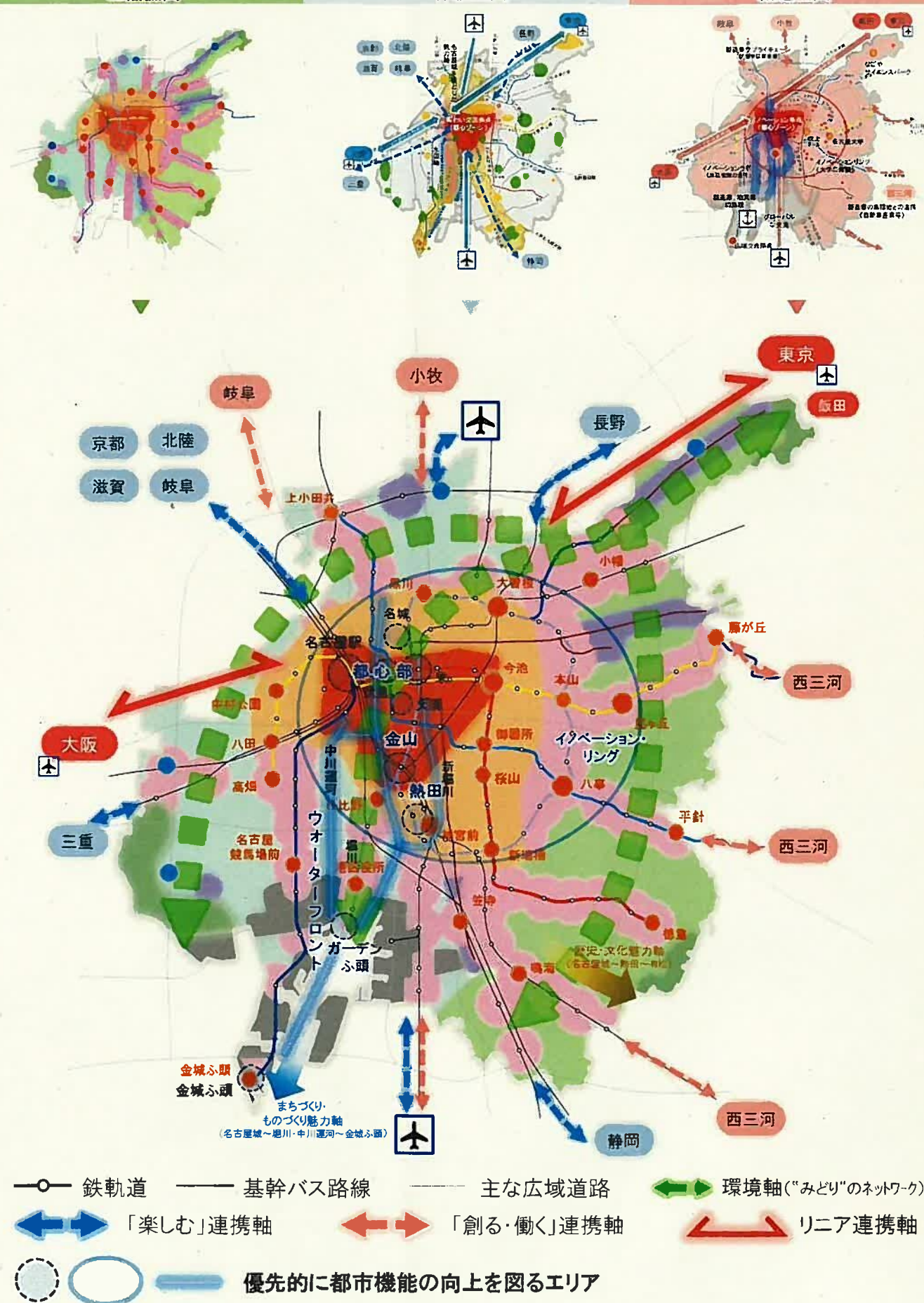
感性を刺激する洗練された都市景観形成

7 将来都市構造

生活空間

体験空間

創造空間



新たな時代に対応した都市づくりのあり方について (中間報告)

各ゾーンにおけるまちづくりの方向性

土地利用
密度イメージ

- 拠点市街地 -
魅力があふれにぎわう交流拠点
高次な都市機能が集積し、市民のみならず広域から人が集い、多様な交流活動が営まれる市街地。
都心ゾーンは、SMRのセンターとなる中部圏の中核に、地域拠点は、交通結節点等において、市内各地域の中心になる市街地。

都心
ゾーン

リニア中央新幹線が開通する名古屋駅を擁する都心において、SMRのセンターとなる中部圏の中核としての広域交流機能を強化

● 地域拠点

市内の主要な交通結節点等において、主に市民の生活利便性や豊かな都市活動を支えるための機能を集約

● 近隣拠点…地域拠点を補完する、支所を中心とした拠点

高

- 駅そば市街地 -
快適で利便性の高い居住環境
地下鉄をはじめとした公共交通網周辺の駅そばにおいて、利便性が高く歩いて暮らせる居住環境を有する市街地。
駅そば市街地やその周辺の郊外市街地の住民のための生活利便施設が集積し、若者や高齢者をはじめ利便性を追求する居住ニーズに対応。

都心周辺
ゾーン

都心ゾーン周辺の古くに整備された市街地において、都心との近傍性等の特性を生かした再生を推進

駅そば
ゾーン

駅を中心とした生活圏において、駅周辺やその後背圏の住民の日常生活を支える都市機能を向上

準駅そば
ゾーン

基幹的なバス路線等を中心とした生活圏において、利便性の高い住宅地としての機能を維持

中

- 郊外市街地 -
「ゆとり」と「うるおい」がある居住環境
市の郊外部において、空間的なゆとりと自然豊かなうるおいがある居住環境を有する市街地。
人口減少がすすむ中でも良質で持続的な居住環境が維持され、ファミリー層を中心に多様な居住ニーズに対応。

西部郊外
ゾーン

多様な土地利用が混在した西部において、職住が近接し多様な機能が調和した生活環境を形成

東部郊外
ゾーン

緑豊かで良好な風致を有する東部丘陵地において、ゆとりとうるおいのある生活環境を形成

低

- その他のゾーン -
地域特性を生かした土地利用
市の臨海部や豊かな自然環境が持つ特性を生かし、市の産業力の向上や、うるおいや快適性の確保に資するゾーン。

港湾産業
ゾーン

名古屋港を擁する臨海部を中心に、集積した製造業や物流施設の操業環境の保全や機能の更新・高度化を推進

自然共生
ゾーン

市街化調整区域において、現在の豊かな自然環境を維持保全を基本としながら、都市基盤の整備状況に応じた土地利用を展開

8 都心部のまちづくりについて

8-1 位置づけ

■次期都市計画マスタープランの都心部部分

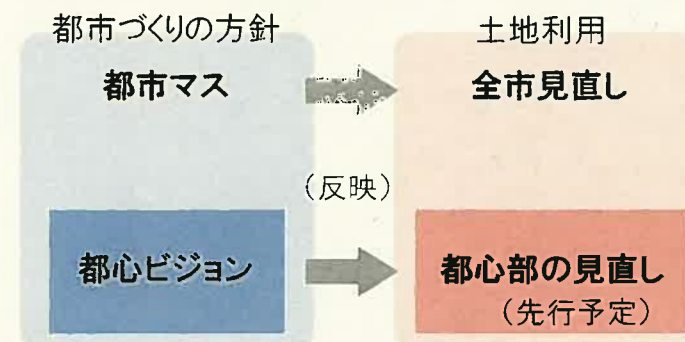
次期都市計画マスタープラン（平成32年度策定予定）の都心部部分に反映

■行政と民間で共有できる名古屋都心部の将来像

民間投資を促進することを目的として、行政と民間で共有できる名古屋都心部の将来像を提示

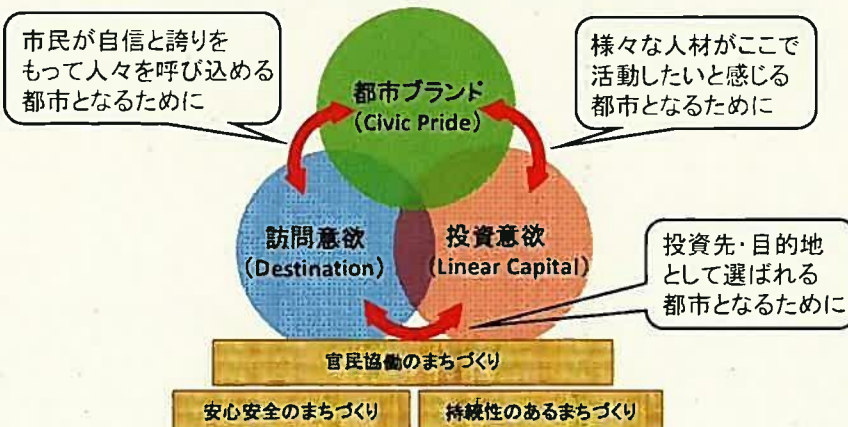
リニア中央新幹線の開業を見据え、次期都市計画マスタープランに先行して、今年度中に「都心まちづくりビジョン」として公表

都市マス、都心ビジョン、土地利用の検討概念図



8-2 策定の視点

1. スーパー・メガリージョン形成による効果の最大化
2. 技術革新によってもたらされる産業構造の変化への対応
3. 来訪者を増やし交流を促進させる都市の魅力づくり
4. 圏域の中核機能と調和した都市型ライフスタイルの提示
5. 多種多様な市民活動等のステージとなる都市環境の構築
6. 持続可能なまちづくりの推進
7. 大規模災害に備えた都市の防災性能・災害対応力の強化

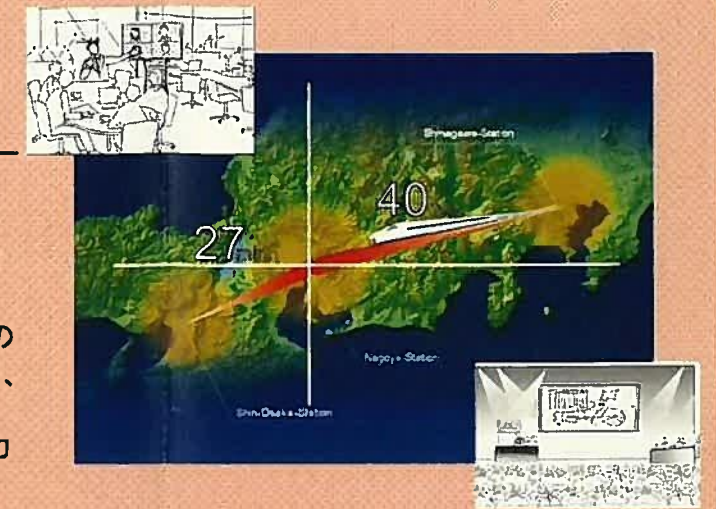


8-3 都心部のまちづくりの方針とまちの将来像

＜方針1＞ 国際競争力の強化と民間投資を誘発する環境整備

（将来像）世界中から多様な人々を呼び込みイノベーションを創出するまち

- リニア中央新幹線の開通により名古屋の都心と東京が40分で結ばれ、スーパーメガリージョンの中心に
- セントレアとも直結した名古屋都心は、名古屋駅を中心として大交流圏を形成
- 国内外から多種多様な職種・立場のビジネスパーソンやクリエイティブな人材が集まり、交流が促進
- 新たなアイデア・価値を生み出す人材の集積や、ベンチャー企業、研究機関等の立地が加速し、従来からの圏域の強みであるものづくり技術と結びつくことにより、イノベーションを創出
- 老朽建物の更新や災害発生時の帰宅困難者対策が推進され、災害への対応力が向上
- 名古屋都心は日本のみならず世界経済を牽引するまちへと生まれ変わる



＜方針2＞ 訪れたくなるまちを実現する都市魅力の向上

（将来像）快適な都市空間に訪れる人々の賑わいが広がるまち

- 再生された久屋大通公園では様々なイベントが開催され、国内外から多くの人々が栄地区を訪訪
- 道路空間が歩いて楽しい歩行者優先のみちへと再配分され、環境にやさしい快適なまちになるとともに、名古屋都心を訪れる人々の賑わいがまち全体に展開
- 安全で快適な地下街を形成し、周辺のビルと接続することにより、地上と地下が連続した立体的な賑わいを創出
- インバウンド需要から国際会議まで対応できる様々なグレードのホテルが立地
- 利便性の高い新たなモビリティの導入や、自転車利用環境の向上により、都心の回遊性が向上
- 名古屋城などの歴史資産、劇場や美術館などの文化施設、人気の名古屋めしなど、名古屋ならではの魅力を味わいつくせる都心へと変貌



＜方針3＞ 利便性とゆとりが両立した名古屋ライフスタイルの実現

（将来像）ゆとりを楽しむ名古屋ならではの洗練された都市生活を満喫するまち

- ユニバーサルデザインの推進などにより道路・公園などの公共的空間が一層洗練された空間として再編・創出され、エリアマネジメント活動など様々な市民活動が活発化するとともに、世代間の交流も促進
- 誰もが自分らしく生活・活動できる、様々な価値観やライフスタイルを受け入れる多様性のある都市を構築
- 緑溢れる大規模公園や堀川・中川運河などの水辺空間では、多くの市民がゆったりとした時間を満喫
- 市民にとってのハレの場となる高級フランク店や美しい夜景を楽しむ三ツ星レストランなど、都心ならではの商業施設が集積
- 利便性とゆとりを楽しむ「名古屋ライフスタイル」がより一層洗練されることで、都市生活の理想像を名古屋の都心が実現



8-4 都心の都市構造



都心部

土地の高度利用や都市機能の更新、イノベーションの創出を図ると同時に、那古野地区の四間道をはじめとする個性的な境界においては、景観や地区の特性をしっかりと保全することにより、名古屋ならではの多様性ある中心市街地の形成を図る。

拠点

地域の特性を活かしたまちづくりを行うことにより、地区の名称を聞けば名古屋のまちの姿がイメージできるようなまちを目指す。名古屋駅地区、伏見地区、栄地区においては、特に重点的に民間投資の誘導を図る。

都市軸

沿道・沿線の低層階の店舗化、オープンカフェなどの公共空間の利活用、ウォークラブルな道路への空間再編、緑陰をつくる街路樹、良好な都市景観の形成等により、人の流れを生み出し都心各所を結び付けることにより、都市の賑わいの創出を目指す。

拠点連携

拠点間における複合的なまちづくり施策の展開によって都市の多様性や回遊性を高め、都市機能を相乗的に向上させるとともに、快適に移動できる交通手段も用意することにより、全ての来街者にとって巡ってみたいくなるまちの実現を目指す。

都心ゾーン

広域交通の結節点としてのゲート性の演出、特色ある都心境界の保全や都心居住による職住近接の推進、地域まちづくり活動の支援など、市域の中心部にふさわしい多様性のあるまちづくりを進める。

8-5 拠点のまちづくり

新たな時代に対応した都市づくりのあり方について（中間報告）

名城地区 ～ 歴史と文化に彩られた名古屋のまちづくりの礎 ～

- ①名古屋のまちづくりの礎たる歴史・文化資産を、様々な形でまちづくりに活用することにより、奥行きと多様性のある都市の姿を実現します
- ②他の拠点との連携を強化することにより、観光拠点の賑わいを都心全体に広げることにより、都市の回遊性を向上させます



連携

補完

名古屋駅地区 ～ 未来を体感し創造する交流のターミナル ～

- ①国内外から来訪する人々を迎え入れるターミナル駅をつくり、駅周辺の総合交通結節機能の充実と再編を図ることで、約7,000万人交流圏の交通拠点を形成します
- ②スーパー・メガリージョンの中心にふさわしい、多種多様な人材の交流を促進し、日本を支える新たな価値を生み出す、国際的・広域的な拠点・顔を形成します
- ③魅力ある地域資源を活かした多彩なまちをつくり、相互につなぐことで一体性のある、歩きたくなるまちを形成します



連携

補完

伏見地区 ～ 職・住・遊のプラットフォーム ～

- ①リノベーションなどにより、意欲ある起業家の創業を促進し、業務機能が集積している従来からの地区の特性をより一層発展させます
- ②芸術・文化施設、公園の緑や水辺空間、歴史的建築物などによって醸し出される芸術的・文化的な雰囲気を活かしたまちづくりを進めます
- ③良好な民間再開発の促進により、様々な都市機能と調和した都心居住を実現するとともに、地域住民によるまちづくり活動を支援します



連携

補完

栄地区 ～ 訪れる人々が心を解き放つ都心のオアシス ～

- ①大規模公園をはじめとした公共空間を洗練されたゆとりあるシンボル空間として再生・活用することにより、エリアの賑わいを都心全体に広げます
- ②民間再開発の機会を捉え、様々な楽しみ方や働き方を提供する商業・娯楽・文化施設等や、オフィス等の都市機能を集積し、多様な人材が集まる環境整備を推進します
- ③エリアごとの様々な特色を活かした多様性のあるまちづくりを進めることにより、名古屋らしさを感じられる都心の魅力を向上します



連携

補完

大須地区 ～ 下町情緒とポップが交錯する庶民文化の象徴 ～

- ①大須観音や万松寺などの歴史的な資源と古着屋などの個性的な店舗の集積した商店街の情緒を大切にすることで、都心の魅力に多様性と彩りを添えます
- ②コスプレやアニメなど「ポップカルチャーの聖地ナゴヤ」としてのブランド確立することにより、国内外から訪れる老若男女誰もが集い楽しめるまちの雰囲気を醸成します



金山地区 ～ 交通拠点から交流拠点へ ～

これまでに培われてきた文化芸術の機能に加え、商業、オフィス、宿泊などの都市機能の充実を図ることで、多種多様な交流によるにぎわいあふれるまちを形成します



エリアマネジメントの支援、防災・環境への配慮・開発と保全のバランス、イノベーション拠点の形成

8-6 都市軸のまちづくり

幹線道路と沿道のまちづくり

名古屋都心のシンボリックな通り(※)を人に優しく歩いて楽しいまちへ道路空間の再配分

沿道の民有地と一体となった快適な都市空間の整備による賑わいが連続した街並みの形成

- 自動車の都心部への集中緩和
- 低層階の店舗化 など

(※ 賑わい交流軸(なごや交通まちづくりプラン)とする)



河川・運河沿岸のまちづくり

堀川・中川運河などの環境整備・水辺空間の魅力向上

- 河川・運河側に向けた店舗配置
- 水質の浄化による環境向上 など



都市軸のまちづくりの推進により、各拠点の賑わいを都心部内に展開し、都心部内の各エリアを結びつけることで、名古屋の都心部を一体的な構造へ



■■■■■ 賑わい交流軸
(なごや交通まちづくりプラン)

個性を活かした沿道のまちづくりを進める幹線道路

個性的で多様性ある都心部を実現するための主たる都市軸の将来像

賑わい交流軸

広小路通 ~名古屋都心を象徴する東西軸~

名駅通 ~名古屋の顔となる駅前の交流軸~

久屋大通 ~緑豊かな開放感溢れる南北軸~

大津通 ~トレンドの先端をゆく魅力発信軸~

桜通 ~ターミナル駅の正面に位置する景観軸~

本町通 ~名古屋城下町の歴史を辿る回遊軸~

三蔵通 ~起業意欲と感性を刺激する創造軸~

水辺空間軸

堀川・中川運河 ~都心の水の賑わい軸~

8-7 都心界限と拠点連携のまちづくり

拠点連携のまちづくり

各拠点の持つ機能を有機的に結びつけることで都心部内の回遊性を高めるとともに、都心全体の都市機能を相乗的に向上

あわせて、歩きやすい道路整備に加え、既存の公共交通の利便性向上、新たな路面公共交通システム等により、手軽に利用できる移動手段を確保



分断要素の解消



地域資源の活用

拠点



都心界限のまちづくり

都心界限は、各拠点や幹線道路沿道に比べると比較的低利用ながら、歴史性や下町の風情など独自の個性・魅力を保全・開拓することで、都市の多様性を向上

あわせて、エリアマネジメント等の地域のまちづくりを積極的に支援

拠点



都市の多様性・回遊性を向上

都市機能を相乗的に向上



境界の魅力向上

